



よりよく生きる

～時を守り 場を清め 礼を尽くす～

発行 2025年(令和7年)9月

第6号

発行責任者 駅家中学校長

夏休みも終わり、2学期がスタートしています。

朝晩、ふとした瞬間に秋を感じると思いきや、まだまだ暑い日々が続きます。生徒は夏休みを楽しみ思い出を引きずりながらも、けじめをつけて2学期頑張ろうという表情が見えます。2学期は10月10日(金)に体育大会があります。3年生の団長が1・2年生の教室を回り、学校を・体育大会をよりよくするメンバーを募っていました。文化祭で見ることができたあの雰囲気、お互いがお互いに頑張りを認め合い、励まし合う。惜しみなく声援を送る。そんな時間をもう一度過ごすことができたらしと思ひますし、そのような力や思いを日常の授業に生かしていけたらと思ひます。

2学期も学校へのご理解・ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

3年生団長の意気込み

始業式で全体へ伝えた言葉を紹介します。



○赤団 団長 城山大楽

赤団団長の城山大楽です。この体育大会が中学校生活最後になるので、思い出に残るものにし、全力で楽しみ、みんなで団結・協力したいです。そして、体育大会だけのリーダーではなく、駅家中学校のリーダーとしてボランティア活動なども行いたいと思ひます。めっちゃ楽しい体育大会にしたいので、ぼくについてきてください。みんなで頑張らましよう。

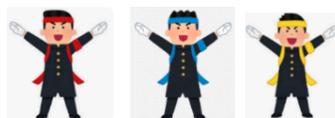
○青団 団長 千葉大成

青団団長の千葉大成です。青団の目標は「学年の垣根を越えて成長し、全員でよりよい学校をつくる」ことです。そのために、自分がどんなことができるのかを考え、行動でチームを引っ張っていける団長になろうと思ひます。もちろん、体育大会という行事だけでなく、ボランティアやその他の取組があれば、全力で取り組んでいこうと思ひます。これらの取組を通して、色々な学年や人とも仲を深められると思ひます。そして、学校をよりよいものにしていきます。

○黄団 団長 井藤蒼葉

黄団団長の井藤蒼葉です。今、駅家中学校は変わっていています。そこで、新しい駅家中学校を作っていくメンバーになりたいと思ひ、リーダーに立候補しました。僕は団長として、駅家中学校を学年関係なく1つの物事に団結できる集団にすることを目標としています。そのために、全員の手本となるような学校生活を送り、みんなが団結できるような声かけをします。黄団が団結できるように頑張るので力をかしてください。よろしくお願ひします。

相手へ訴えかけるように伝えていました。この言葉を受けて、1・2学年からリーダーが選ばれ、素晴らしい体育大会になることを期待します。



人生はトライ&エラー、1学期の教訓が生かされていますか？

1学期の定期テストでは、納得のいく結果にならなかった生徒もいたのではないのでしょうか。2学期も定期テストがあります。さて、1学期の何を教訓にしてどのように頑張っていくか？ある生徒に聞くと、「テスト勉強に取り組むのがとにかく遅かった。単純に勉強量が足りてないと思ひた。2週間前から本気で取り組む。結局1時間1時間の授業をしっかりと頑張っていれば、ワークなども進み提出物も減るし、テスト前の勉強も学習内容が頭に残っているのだからやりやすいと思ひた。」というとても具体的な回答が返ってきました。しっかりと1学期の自分と向き合い、自分を高めようとしているんだな、と思ひました。

勉強に限らず、全てのことはトライ&エラーだと言えます。トライを恐れているのはエラーが得られません。私たちはエラーから多くのことを学び、次に生かすことができているのではないのでしょうか。学校教育目標にある「よりよく生きる」に繋がるためにもまずは「やってみよう」。お互いの「やってみよう」を支えよう！だと思ひます。

冷水機が設置されます。



P T A 理事会で、熱中症や水分不足について心配な声が上がりと、冷水機が設置できないかという案がでました。先日すぐーるで配信した通り、冷水機を設置させていただきます。生徒へは大切に使うことと、保護者の想いがつまっていることを伝えようと思ひます。ありがとうございました。



～教務主任（井上先生）のひとりごと～

私は、駅家中学校に来て2年目になります。駅家の生徒は、人懐っこく、心が温かい生徒が多い印象があります。私自身、学校生活を楽しくさせてもらっています。その中で最近、気になっているのが「敬語」です。「親しき仲にも礼儀あり」という言葉がありますが、何でも言い合える人間関係は素敵ですし、とても楽しいと思ひます。しかし、そういう深い人間関係になっても、疎かにしてはいけないのが、礼儀です。礼儀とは、相手を立派だと思ひて大切にしようとする気持ちを表すための態度・行動のことです。

「親しき仲にも礼儀あり」とは、はっきりとはしていませんが、中国の昔の思想家である孔子が作った「論語」が由来であると言われていています。意味は、親しみ過ぎて遠慮がなくなると、仲が悪くなるものになるから、親しい相手でも礼儀を重んじようということです。要するに、家族や友達など親しい間柄だからこそ、良い関係であり続けるために、相手に気遣いをしようという人付き合いで大切な言葉です。同じく、先生や目上の方に対してもです。気遣いなくうっかり失礼なことを言ってしまったら、「礼を欠くなんて嫌な性格の人だろう」と思われてしまいます。そんなことだと、学校から外に出て、社会の一員になった時に、恥ずかしい社会人になってしまいます、ですから、親しき仲にも礼儀ありを常に忘れないようにし、家族・仲のいい友達・先生・目上の人であっても、良い関係が築けるような人になってほしいな～と思ひています。